

## 「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第13回研修を開催しました！」

第13回の研修は、令和6年8月23日（金）、24日（土）に雫石町南畑のコテージむらで開催しました。

今回の研修では、外部講師をお招きして「岩手の果樹栽培」についての講義と、栽培野菜の管理、はくさいの定植などの実習を行いました。

講義では、花巻市葡萄が丘農業研究所の工藤英夫所長を講師に迎えて、果樹栽培の概論や本県の果樹栽培の特長などをお話いただきました。

果樹についての専門的な内容に加え、工藤所長の数々の果樹栽培の経験談を受講生は熱心に聞き、「果樹栽培をやってみたいと思った。」など前向きな感想が多く寄せられました。

続けて、研修指導員から、はくさいの栽培についての講義と、ピーマンとなすの誘引及び剪定方法について復習を行い、休憩のあと、実

習に入りました。

実習では、大玉トマトの収穫作業のあと、ピーマンとなすの誘引及び剪定作業を行いました。研修指導員の説明のあと、講義で復習したピーマンとなすの着果習性や、どの枝を剪定するかなど、研修指導員や受講生同士で確認し合い、試行錯誤しながら、なすとピーマンを剪定しました。

まだ、どの枝を剪定するのか、判断に悩む受講生が見受けられたため、復習を重ねて技術習得に励んでいただきたいと思います。

終わりに、今年度最後となる、はくさいの苗を定植しました。定植後の畦にはマルチの代用として、もみ殻を敷き、初めての施用方法に受講生は感心していたようでした。

次回の研修は、9月7日（土）に、北上市の岩手県農業研究センター等へ、視察研修を行う予定です。



講義「岩手の果樹栽培について」の様子  
講師：花巻市葡萄が丘農業研究所 工藤 英夫 所長



なすの切り戻し剪定を行う受講生



ピーマンの剪定作業を行う受講生



はくさいの畦へもみ殻を敷く受講生